

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ#
無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

ラベルに使用される製品の識別子

製品名	Mineral Fibres according Note Q
別名	Roxul®1000, Rockbrake®, Rockseal®, Rockforce®, CoatForce®, Lapinus®, RIF41001, RIF48003, ROCKWOOL®

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途	複合材料における添加剤
使用上の制限	いいえ 使用上の制限

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細	Lapinus (ROCKWOOL B.V.)	
納入業者の住所	Lapinus ROCKWOOL B.V Delfstoffenweg 2 6045 JG Roermond オランダ	Lapinus ROCKWOOL B.V P.O. Box 1160 6040 KD Roermond オランダ
電話	+31 475 353 555	
Eメール(担当者)	ra@lapinus.com	

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号	+31 475 353 555	月曜日から金曜日, 09:00 – 17:00 (GMT)
話される言語	英語	

セクション 2: 危険有害性の要約

危険有害性の概要

この物質を取り扱うと、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的刺激を与えることがあります。

GHS の分類 JIS Z 7252: 2014

物理的な危険性	分類されていない。
健康に対する有害性	分類されていない。
環境に対する危険	分類されていない。

表示要素

危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
注意喚起語	割り当てられていない。
危険有害性情報	該当なし。
危険有害性情報	割り当てられていない。

他の危険有害性

この物質を取り扱うと、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的刺激を与えることがあります。

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ^h無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

セクション 3: 組成/成分情報

物質 - 該当なし。

混合物

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 ^	危険有害性分類
Man-made vitreous (silicate) fibres (MMVF) with random orientation with alkaline oxide and alkali earth oxide (Na ₂ O+K ₂ O+CaO+MgO+BaO) content greater than 18 % by weight]	98-100	65997-17-3*	割り当てられていない。	分類されていない。 - / <gQによると

* 汎用 CAS 番号 65997-17-3, 特定 CAS 番号 287922-11-6, 特定 CAS 番号 1010446-98-6. 詳細はセクション 16 を参照してください。

この製品には結晶性シリカは含まれていません。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

最初の救助者自身の保護

適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。適切な換気を確保する。粉塵の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。

吸入

吸入した場合: 呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

皮膚接触

皮膚(又は髪)に付着した場合: 水でよく手を洗うこと。刺激(発赤、発疹、水疱)があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

目に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

摂取

飲みこんだ場合: 吐かせないこと。水で口をゆすぐこと。症状が現れたら、医師の治療を受ける。

最も重要な症状および作用(急性および遅発性)

この物質を取り扱っていると、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的刺激を与えることがあります。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態

症状によって処置する。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

非可燃性。支燃性はありません。可燃性/引火性はありません。火災の際は、周りの環境に適した消火媒体を使用してください。泡消火剤、スプリンクラーまたは霧状消火剤。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

知られていない。

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ#
無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な保護衣を着用する。この物質を取り扱うと、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的的刺激を与えることがあります。適切な換気を確保する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵の吸入を避ける。汚染された衣類を脱ぐこと。また、再使用する場合には、事前に洗濯すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

環境的予防措置

環境中への放出を避ける。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

安全に対処できるならば漏洩をとめる。可能な限り、吸引装置を用いて漏洩物を回収すること。発塵を避けるために湿らせてください。廃棄用またはリサイクル用のふたの付いた容器に移す。粉じんの発生を避ける。室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

作業員は被暴を最小限にするように訓練されていることを確認します。適切な換気を確保する。粉塵の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。取扱い後は手を完全に洗うこと。流出物をとり除く間、適切な保護具を着用する。適切な衛生管理方法および雑務実施方法。高い産業衛生水準を維持します。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

元の容器/包装に入れた状態で換気の良い冷所に保存すること。食品、飲料、動物の飼料から遠ざけること。容器を密封して保管する。

保管温度

室温で貯蔵すること。

混触危険物質

湿気との接触を避けてください。~から離すこと: 湿度

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

物質	CAS 番号	OEL		参照
		ppm	mg/m3	
Man made mineral fibres	-	-	1	JSOH, 2003

出典: JSOH Recommendation of Occupational Exposure Limits (2017 - 2018), J Occup Health 2017; 59: 436-469

職業暴露限界の勧告 (2017年~2018年)、J Occup Health 2017年; 59: 436-469

生物学的限界値

確立されていない。

暴露管理

適切な工学的管理

適切な換気を確保する。適切な衛生管理方法および雑務実施方法。容器を密閉し、乾燥した状態で保管する。換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ#A無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

個人用保護具 (P P E) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵の吸入を避ける。適切な換気を確保する。高い産業衛生水準を維持します。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。この物質を取り扱っていると、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的刺激を与えることがあります。保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



目の保護: 通常要求されていない。

推奨: 側板付き保護めがね (EN166) を着用すること。

皮膚の保護



手の保護:

不浸透性手袋を着用すること。過度の被爆があった場合は、手袋を交換する。

体の保護:

皮膚に触れないように適切なカバーを被ってください。長袖の作業着を着用すること。

呼吸器の保護



換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。適切な粉じんマスクまたはA/Pタイプのフィルターの付いた粉じん用の呼吸マスクが適当である。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

この物質を取り扱っていると、ほこりを発生させ、それが目、皮膚の鼻、のどに機械的刺激を与えることがあります。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的特性についての情報

外観	固体。灰色。 / 緑色。 繊維
におい	確立されていない。
臭いの閾値	確立されていない。
pH	7 - 8
融点/凝固点	> 1000 °C
初留点と沸騰範囲	確立されていない。
引火点	該当なし。
蒸発速度	確立されていない。
燃焼性 (固体、ガス)	可燃性 / 引火性はありません。
上限/下限可燃性または爆発限界	確立されていない。
蒸気圧	確立されていない。
蒸気密度	確立されていない。
相対密度	2.7 - 2.8 g/cm ³

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ^h無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

溶解度	水に不溶。
分配係数: n-オクタノール/水	確立されていない。
自然発火温度	確立されていない。
分解温度	確立されていない。
粘度	該当なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。

セクション 10: 安定性および反応性

反応性	普通の状態て安定。
化学的安定性	普通の状態て安定。
危険な反応の可能性	普通の状態て安定。有害な重合は起こりません。
避けるべき条件	酸およびアルカリに近づけないでください。 ~から離すこと: 湿度
混触危険物質	知られていない。
危険有害性分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報	
急性毒性 - 摂取	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
急性毒性 - 吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 >20.0 mg/l。
急性毒性 - 皮膚接触	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
皮膚腐食性/刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 IARC :グループ 3。 作因は、ヒトに対する発癌性については分類できない (ヒトでの不適切な証拠, 実験動物での限られた証拠)。 EU規制: 参照 Q デ<^は、物質が以下の条件のうちの 1 つを満たすことが示されることができ ならば、発癌物質としての分類が適用される必要がないことを示します: - 吸入による短期のインビボ持続性試験は、20 μmより長い繊維が10日未満 の加重半減期を有することを示した。または

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバ#
無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

<p>生殖毒性</p> <p>特定標的臓器への毒性 (単回暴露)</p> <p>特定標的臓器への毒性 (反復暴露)</p> <p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>- 気管内点滴注入による短期のインビボ持続性試験は、2.0 μmより長い繊維が40日未満の加重半減期を有することを示した。または</p> <p>- 適切な腹腔内テストでは、過度の発がん性の証拠は示されていません。または</p> <p>- 適切な長期吸入試験において、関連する毒性または新生物性の変化はない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p>
--	--

セクション 12: 環境影響情報

<p>毒性</p> <p>残留性および分解性</p> <p>生物蓄積性</p> <p>土壤中の移動度</p> <p>オヤ洵 w に対する有害な影響</p> <p>その他の有害な作用</p>	<p>これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。</p> <p>容易には生分解されない。</p> <p>低生体蓄積性。</p> <p>製品は土壤中で移動性が低いと予想される。水に不溶。</p> <p>知られていない。</p>
--	--

セクション 13: 廃棄上の注意

<p>廃棄物処理法</p>	<p>適用法に盾て廃棄してください。排水路や環境に排水しないでください 認可された廃棄物収集場所でそれを処分してください。地域の法規制に盾て、廃缶や容器を廃棄してください。</p>
----------------------	--

セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

	ADR/RID	IMDG	IATA/CAO
国連番号	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
UN 適切な船積み名	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
輸送危険分類	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
環境に対する危険	分類されていない。	分類されていない。	分類されていない。
使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2		
MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送	該当なし。		

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

JIS Z 7253: 2012 は、有害物質および混合物/配合物に対してのみSDSを要求しています。工業用Mineral Fibres according note Qスト<塔tアイバハ無害と定義されています。安全情報シ<gは、可能な限り参考になるようにJIS Z 7253: 2012の規則に盾て作成されています。

国の規制

記載されていません

非地域

参照 Q 繊維- IARC :グループ 3。

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。- V1.0

発刊日: 8th 7月 2019

参考文献:

既存の安全データシ<g(SDS).

EU: 既存の ECHA 登録 Glass, oxide, chemicals (CAS 番号 65997-17-3).

Note Q のファイバが分類されている CAS 番号は 65997-17-3 です。この数字を下回ると、繊維は世界のほとんどの国で化学物質登録システムに登録されます。この CAS 番号は非常に広いです。生体溶解性繊維の特定の化学的性質は、CAS 番号 287922-11-6 および 1010446-98-6 に記載されており、CAS 登録システムによってのみ追跡することができる。

この安全データシ<gは、日本工業規格 JIS Z 7252:2014 及び JIS Z 7253:2012 に盾て作成した。

注釈

LTEL: 長期暴露限界

STEL: 短時間暴露限界

DNEL: 求められた無影響量

PNEC: 推定無影響濃度

PBT: PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性

vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

IARC: 国際がん研究所

BEI: 生物学的暴露指標(ACGIH)

TLV: 限界値(ACGIH)

TWA: 時間加重平均

EU: 欧州連合

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被曝の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Lapinus (Rockwool B.V.) はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Lapinus (Rockwool B.V.) は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用権があるということではありません。